

倉内城について～真田氏以前の沼田城～

諸田 義行

はじめに

1 倉内城の歴史

(1) 倉内城築城を伝える史料

倉内城をつくったのは沼田氏

いつつくったのかについては諸説ある

- 「加沢記」(史料1) …長禄2年(1458)
- 「平姓沼田氏年譜略」(史料2) …永禄2年(1559)
- 「沼田根元記」(史料3) …享禄3年(1530)

(2) 沼田氏、台地上に城を移す(幕岩城の築城)

沼田氏は、荘田城 → 小沢城 → 幕岩城 → 倉内城 と居城を移してきた
(沼田荘の中) (沼田台地の上)

無人の台地に城を移したのはなぜか？

「上杉憲房書状写」(史料4)

永正7年(1510)長尾景春が「沼田荘内に討ち入り」→沼田荘が戦乱に巻き込まれる危機があった



もっと守りの堅い城が必要になった

永正7年頃、沼田台地上に幕岩城を築いて移った

(3) 沼田氏、倉内城を築く

沼田氏が再び城を移すことになった理由は何か？

「沼田根元記」によると →不吉な夢

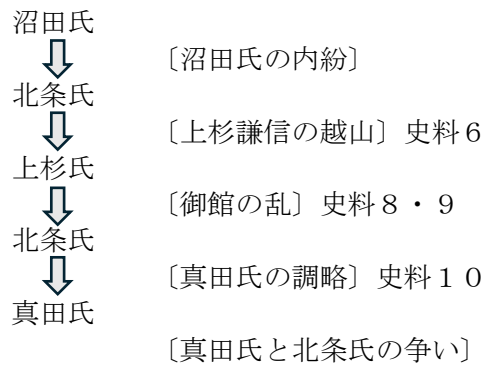
「元昶(長尾顕景)書状」(史料5)

享禄4年(1531)の「享禄の内証」が関係している…山内上杉家の家督争い

◎一族存亡の危機を乗り越えた沼田氏が、次の一步を踏み出すために本格的な城をつくった。それが倉内城だった。

◎倉内城の築城は、沼田氏が一族内を固め地域領主たる国衆として成長していくことを意味する。

(4) 戦国期の倉内城



2 倉内城のつくり

(1) 史料から築城の状況を探る

「平姓沼田氏年譜略」(史料2)

- ・武尊社・天神社を移す
- ・社跡を本丸
- ・東南に門・屏・堀を構え、星名曲輪(二之丸)
- ・更に東南に三之丸

(2) 保科曲輪腰曲輪群の調査から分かること

- ・保科曲輪の北側斜面に大小7つの曲輪
- ・薄根川方面に下っていく道 → 沼田荘に通じる道



倉内城は北(本拠地である沼田荘を向いて)を正面としたつくりだった
「倉内城イメージ図」

まとめ

◎沼田氏にとっての倉内城とは

◎周辺の戦国大名たちにとっての倉内城とは